

今年度から、学校のことや身の回りのことなど、ささやかな日常の様子を校外に発信しようと思い立ち、校長通信を定期的に発行します。

前もってお断りしておきますが、駄文と乱文になることは必至ですので、分かりづらい個所や不適切な表現が含まれていましたらお詫び申し上げます。



春爛漫の蓼科山

コロナ禍の行方

たった3か月前でしたら、このような事態になるとは誰が予想できたでしょう？ 全国で感染者と亡くられる方が増加し、感染防止のために大変なことになっています。学校現場でも同様に、生徒への感染を防ぐため県内で現時点では5月6日まで一斉休校措置がとられました。また、お亡くなりになられた方には、心からお悔やみ申し上げます。

学校では、休校期間でも「3密」を避けて先生方は仕事をしています。生徒が学校にいない現在はデスクワークが中心ですので、在宅勤務を行っている方もいます。また、早朝から夜まで自分の都合の良い勤務時間にずらす時差勤務、土日と平日とを振り替えるなどをしながら、人の密集を避け、他人との接触機会や時間を減らす取り組みを行っています。

職員会議は、校内ネットワークにあらかじめ議案と資料のデジタルデータを載せておき、事前にそれを読んだ後、会議に臨むこととしました。そのため、連絡事項はほとんど時間がかからなくなり、会議時間が従来の半分で済み、ペーパーレス化も進みました。



生徒を待ってる教室

大変な毎日ですが、新型コロナ禍により先生方の「行動変容」が明らかに起きていて、校内の仕事の合理化が一部で進んでいます。おそらくこれを機に、ICTを使った遠隔授業など、近未来的な取り組みが一気に普及し、どの学校でも当たり前のことになる日も近いでしょう。それを使い、新型コロナに負けない新たな学びが実践されることを期待しています。

困ったお話

現在私は、立科町の教職員住宅をお借りして単身生活をしている。すこぶる住み心地が良いが、一つ困ったことがある。それは野良猫たちだ。私が帰宅すると、いつも決まってまとわりついてくる。昨年からずっと猫に目をつけられているのだった(人から注目されないのは残念だ)。動物は大好きなのだが、撫でたりエサを与えたりすると周囲に迷惑がかかるので、あえて冷たくあしらっている。

ある日の帰り、駐車スペースに車を止めようとしたら奇妙な物体を発見し、ブレーキをかけた。車を降りて見たら爬虫類のおもちゃだった。「いたずら？」と手に取って見たら本物のイモリ(干物)だったので絶叫した。と、その時、足元で猫が満足げに私の顔を見上げていたのである。

この時の猫の行動が気になって Web で調べてみると、『飼い主さんのことが大好きで、仲間だと思っている』『こんなに大きな獲物がとれたの』と自慢している』『飼い主さんのことを狩りができないと思っているので、私が手本を見せなきゃと思っている』なのだそうだ。



猫のおみやげイモリくん(干物)

私は飼い主ではないし、人から好かれたいのは残念だ。